

11 陸上競技実施要項

- 1 日 時 令和元年10月5日(土) 受付 8時00分～ 開会式 9時15分 競技開始 10時30分
- 2 会 場 酒田市光ヶ丘陸上競技場
- 3 主 管 一般財団法人山形陸上競技協会

- 4 種別(種目)
- | | | | |
|-----------------------------------|------|----------------------|--|
| 小学生男子 | 3・4年 | 3年60m | 4年60m |
| | 5・6年 | 5年100m | 6年100m 1,000m 4×100mR 80mH
走高跳 走幅跳 ジャベリックボール投 |
| 小学生女子 | 3・4年 | 3年60m | 4年60m |
| | 5・6年 | 5年100m | 6年100m 800m 4×100mR 80mH
走高跳 走幅跳 ジャベリックボール投 |
| 小学生男女混合 | 5・6年 | 4×100mR (男女各2名で競技する) | |
| ※小学生男子・女子の60m及び100mは学年別に競技・表彰を行う。 | | | |
| 中学生男子 | 100m | | |
| 中学生女子 | 100m | | |

- 5 参加資格
- (1) 選手
令和元年度山形県スポーツ少年団に団員登録をし、年間を通して活動している3年生以上の小学生及び中学生とする。
- (2) 指導者(監督)
令和元年度山形県スポーツ少年団に指導者登録をしているスポーツ少年団有資格者(認定員・認定育成員)とする。
- (3) 一人1種目の出場とする。ただし、リレーを除く。
・同一スポーツ少年団からの出場は、以下の競技とする。
トラック競技：各種目 男女各10名以内
(60m、100mもそれぞれ1種目とし、2学年を合わせて10名以内とする。)
フィールド競技：各種目 男女各5名以内
リレー：男女各2チーム以内
中学生100m：参加人数の制限を設けない
- (4) リレーチームは、単一スポーツ少年団の選手をもって編成(小学生に限る)する。
- (5) スポーツ安全傷害保険等に加入済みの選手とする。

- 6 競技規則 2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項により本競技会を実施するが、小学生種目では、児童である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。

- 7 競技方法
- (1) 競技に際して1,000m及び800mを除く種目ではスパイクシューズを使用してよい。ただし、オールウェザー用のスパイクピンとし、長さ9mm以内、本数11本以内とする。素足による競技は認めない。

- (2) 招集時刻を厳守すること。

	トラック競技予選	トラック競技決勝	フィールド競技
招集開始時刻	35分前	30分前	45分前
招集完了時刻	20分前	15分前	30分前

- (3) トラック種目について

- ① トラック競技予選の番組編成は主催者が行い、プログラム記載の通りとする。60m、100m、80mHでは決勝を行い、番組は本部で編成し招集所に貼り出す。800m、1,000m、4×100mリレーは、タイムレースで順位を決定する。
- ② スタートの合図はイングリッシュコマンド(コール)とする。
- ③ スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。スターティングブロックは使用しなくても良い。
- ④ 不正スタートについては、同じ競技者が2回行った場合を失格とする。
- ⑤ リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは、基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ⑥ リレー競技に出場する選手のユニフォームは、原則としてチームの全選手とも同一デザインとする。ただし、男女混合4×100mRでは男女の型の違いは認めるものとする。
- ⑦ 男女混合4×100mRは男女各2名から編成され、走順は自由とする。(補欠についても男女各1名ずつとする。)
- ⑧ 80mHは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。

- (9) フィールド種目について

- ① 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットの着地は足裏からとする。(背腰等から落下した場合は無効試技とする。)また、自分が申し

た高さから競技を開始することができ、3回続けて失敗した時点で終了とする。

② 走り高跳の最初の試技の高さは、女子が1 m05、男子が1 m10とし、以後5 cm ずつ高さを上げ、女子は1 m25、男子は1 m30になったら、3 cm ずつ高さを上げていくものとする。

③ 走幅跳は一人3回の試技とし、ベスト8は行わない。

④ ジャベリックボールは、大会事務局が準備するものを使用する。一人3回の試技とし、助走距離は、15m以内でやり投げの助走路で行うものとする。試技の際にはボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。※羽だけを持って投げることは禁止する。

- 8 表 彰 (1) 種目ごと優勝した選手にメダルを授与する。
(2) 種目ごと第6位まで賞状を授与する。
- 9 閉 会 式 閉会式は行わない。
- 10 参 加 申 込 (1) 参加申込書の作成
次の2つの様式を山形県スポーツ協会ホームページからダウンロードし、デジタルデータとして作成する。今年度から手書きによる参加申込書は受付しないものとする。すべての欄に入力し、不備がないかを確認すること。(記載責任者氏名、連絡先電話番号等、所属スポーツ少年団と指導者の登録情報、最高記録、大会運営上必要な登録団の名称などすべての欄に漏れなく入力する。)
・参加申込書(様式1) : 5部(1部参加者控え)
・参加申込一覧表(様式2) : 5部(1部参加者控え)
(2) 申込の手順
① 8月16日(金)まで当該市町村スポーツ少年団に参加料を添えて直接申込みこと。
② 作成した申込書(様式1・2)のデジタルデータを、下記連絡先メールアドレスに添付して送付する。
(3) 参加申込みにあたって注意すること
・様式1の参加人数と、様式2の参加申込一覧表の人数が同じになっているかを確認する。
・参加申込一覧表は、小学生、中学生に分けて記入する。男女は分けなくても良い。
・出場種目ごとに、氏名と学年、フリガナ、性別番号、出場種目、最高記録を必ず記入する。例示を参照し、ミスがないように入力する。セル内の数式や書式を絶対に変更しない。
・リレーに出場する場合は、参加申込一覧表(様式2)に併記(同じ選手が2又は3行に入力)するとともに、同じファイル内のリレーシートにも入力する。所属チームから2チーム出場する場合は、A・Bを明記する。
- 11 参 加 料 参加者一人400円(監督・選手)
- 12 そ の 他 (1) ナンバーカードは山形陸上競技協会が準備する。受付時にチームごとに受け取り、競技終了後、必ず返却する。
(2) 受付は7時30分から正面入り口付近で行い、その際、プログラム、ナンバーカード(安全ピンを含む)を受け取ること。
(3) 監督会議を8時30分より競技場会議室で行うので、各チームの監督は必ず参加すること。
(4) 開会式を9時10分より行うので、指定された場所に地区ごと9時00分まで集合を完了すること。
(5) 招集所を西側駐車場に設ける。競技出場前の招集時刻に必ず点呼を受けること。
(6) 競技場内及びサブトラック(室内走路)での練習は、使用ルールを守って行うこと。
(7) リレーオーダー用紙及び2種目同時(重複)届の用紙は、競技者係(選手招集所)より受け取ること。リレーオーダー用紙は、各リレー招集完了時刻60分前までに競技者係へ提出すること。
(8) 競技中、監督・引率指導者・保護者等はグラウンド内での応援、写真撮影はしないこと。
(9) 中学生の記録は、参考記録になる場合がある。
(10) 10名以上参加チームより、補助役員(審判の資格を問わない)を1名以上ご協力すること。参加申込書(様式1)に記入すること。
(11) ゴミや空き缶は責任を持って持ち帰ること。
(12) 競技日程は、山形陸協HPに2週間前までに掲載し、各チームで確認すること。
(13) 個人情報の保護に関する法律及び関係法令等を遵守し個人情報を取扱う。
① 取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営に必要な連絡等に利用する。
② 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- 13 種目連絡先 一般財団法人山形陸上競技協会 E-mail:syo.koryu@jaaf-yamagata.jp